

# 宇野駅に作品展示

## 玉野高の美術、写真部員

「瀬戸内国際芸術祭 2016」の夏会期(9月4日まで)に合わせ、玉野高の美術、写真部員の作品がJR宇野駅に展示されており、駅利用者の目を引いている。

瀬戸内 Setouchi  
Tritennale  
国際芸術祭 2016

宇野駅は瀬戸芸の岡山側の玄関口で、多くの現代アートファンらから利用されている。作品展示は、来場者に歓迎の気持ちを伝えようと部員らが企画。待合所の壁に、宇野港や周辺の



宇野駅待合所に展示されている玉野高美術、写真部員の作品

## 夏会期合わせ アートファンら歓迎

をテーマにした絵画と写真計9点を飾っている。

美術部の5人は、宇野港会場のアート作品、宇野国道フェリーの看板をモチーフにした水彩、鉛筆画5点を出品。写真部の2人は4点で、出港直後のフェリーや宇野駅の全景を被写体としている。

帰宅途中の岡山市南区、会社員岡田友之さん(25)は「絵画や写真でじっくり見てみると、宇野港周辺もひと味違う趣がある」と話した。(近藤哲也)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。